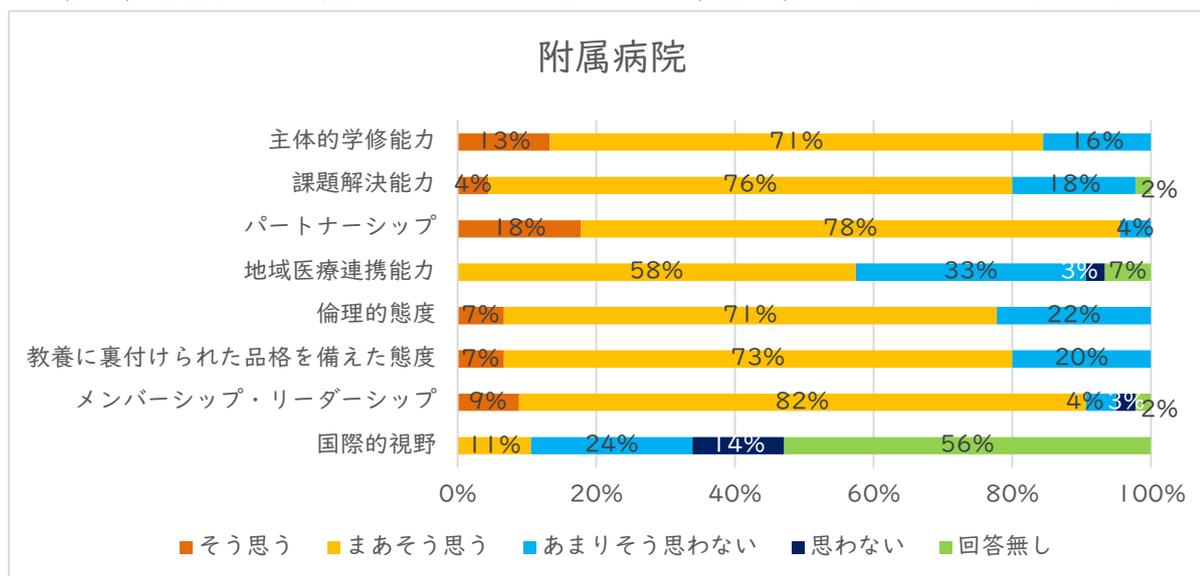


## 2020年度 看護学科ディプロマポリシーに対する雇用者アンケート結果

2020年11～12月にかけて、看護学科卒業生が多く就職する慈恵大学附属病院および関東地方の外部就職先病院に対し、雇用者アンケートを行いました。回答率は附属病院が90.0%、外部施設は77.8%でした。

今回の結果では、看護学科で卒業時に求める8項目のDPのうち、DP4「地域医療連携能力」、DP8「国際的視野」を除く6つのDPに関しては、概ね良好な評価を得られました。特にDP3「パートナーシップ」やDP6「教養に裏付けられた品格を備えた態度」、DP7「メンバーシップ・リーダーシップ」など、獲得に時間がかかると思われるDPの評価が高かったことは、本学の特徴である少人数教育やグループワークでのディスカッションの繰り返しによる教育の積み重ねの効果ではないかと推察されます。このことは、1年次から学生自身のビジョン・ゴールを設定し、教員と毎年ゴールを確認していくことで、看護師としての生涯キャリアを考えていくという主体的学修能力の向上にも寄与したと考えられます。一方で、DP4「地域医療連携能力」とDP8「国際的視野」については、十分な評価を得られませんでした。どちらも現在の勤務環境では発揮する機会がないという回答が多かったことから、これらのDPは今回の評価者からは見えにくい能力であった可能性も考えられます。しかし医療の在宅移行の推進に対する看護支援や卒業生のグローバルな視点での看護は、卒業生のキャリアを高めるためにも重要な能力であり、H29年度カリキュラムから改正されたDP4「地域医療連携能力」DP8「国際的視野」については、その改正内容がDPの涵養に妥当かどうか各科目における更なる教授内容の強化・精査が必要と思われます。

(質問) 看護学科で涵養しているDPの能力は、卒業生の業務に生かされていますか。



## 外部施設

